

令和6年10月29日

第2回秦野高等学校学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和6年10月29日
- 2 場所 秦野高等学校 会議室
- 3 出席者 委員7名 学校職員11名
- 4 内容

○協議

(1) 授業参観を受けての協議

- ・学校管理が行き届いていて、施設の補修も適切に行っている。
- ・感染症まん延防止の観点から換気をすると良い。
- ・先生と生徒で信頼関係が築くことができている、対話型の授業が実現している。
- ・ICT機器の活用方法が改善されてきている。

(2) 令和6年度 活動計画・学校評価報告書（中間評価）について

視点1 教育課程・学習指導

- ・校内で実践力向上のための授業研究を行い、学習指導要領について議論をする機会を設けた。
- ・全学年で新カリキュラムを実施しており、来年度以降もカリキュラムの検討と見直しを実施する。
- ・今年度はSTEAM教育指定校3年目のまとめの年として取り組んでおり、探究の時間を中心にSTEAM教育を実施している。
- ・文化祭・体育祭について、実行委員の指示があいまいであったという昨年度の反省点を活かして、今年度は責任感を持って取り組ませることができた。

視点2 生徒活動支援について

- ・部活動においても、生徒の主体的取り組みや責任感の育成を目指し取り組んできた。また、その確認のため部活動総点検を実施した。
- ・交通マナーに関するご指摘をいただき、通学指導の回数を増やした。
- ・サポートドック実施後は担任が面談を行い、生徒から話を聞く機会を作っている。なるべく多くの教員で支援する環境を構築していきたい。

視点3 進路指導・支援について

- ・オープンキャンパス参加へ働きかけをしたり、東海大学での体験授業、産業能率大学の学生による出前授業を実施したりすることで、生徒に今後の進路選択について考える機会を持たせた。

- ・Classi を模擬試験実施後の結果の分析や復習の他、推薦入試の準備にも活用している。今後、保護者との情報共有や連絡でも活用していきたい。
- ・5年ぶりに姉妹校交流が再開され、生徒は交流のなかで日本について理解が深まったようである。来年度に向けて、参加者募集などの準備を進めている。

視点4 地域等との協働

- ・地域資源の活用として卒業生講話を行った他、地域貢献活動として保育園訪問や地域清掃を実施した。
- ・インスタグラムのアカウントを作成した。現在稼働に向けて準備中である。

視点5 学校管理・学校運営

- ・防災訓練はこれまでに3回実施をした。これからも、危機管理マニュアルや学校防災マニュアルの職員への周知を進めていく。
- ・ホームページに掲載されていた荒天時の対応が実態に合わないものであったため、10月から刷新した。
- ・管理体制の整備に関して、不要な物品を廃棄し収納スペースを確保している。

<委員より>

- ・荒天時の対応について、生徒の安全確保のためにも学校外での対応の確認を望む。
- DIG研修において、学校周辺地域の危険性について理解を深めた。
- ・震災時に、保護者への引き渡しや生徒を学校に留め置くことを想定した取り組みをしているか。
- 常に食料等の備蓄をしている。入学時に3日分の防災グッズを購入し、校内に保管している。
- ・大雨の場合、金目川の氾濫が予想されるが、生徒の登校について何か対策をしているか。
- 荒天時の対応について、ホームページにて情報公開をしている。
- ・総合的探究の時間の指導はどのように行われているのか。
- 1年生で探究のやり方を学び、2年生で生徒自身が探究テーマを決めて個人探究を行っている。3年生では調べた内容は論文やスライド形式にしてまとめている。
- ・姉妹校交流の参加費用はいくらかかるのか。
- 航空券と現地での使用する金額を合わせて約35万程であった。
- ・文化祭での電子決済導入等、新しいことにもチャレンジをされていて素晴らしいと思う。中学校の来校機会を増やしているとのことだが、受験学年を対象としたもののみなのか。
- 授業・部活動公開では通常の高校生活を見ていただくことを目的としているため、中学1年生から3年生までを対象としていた。
- ・SC、SSWや保健室の稼働状況はどれくらいか。
- 稼働状況としては満杯状態であり、学校全体でももう少し円滑に支援していけるようにしたい。

- ・体育祭での髪染めについて、状況はどうだったか。

→生徒がルールを定め、各団体のテーマに則って染髪をしていた。生徒が主体的にルールを守るよう
に行動をしていて、体育祭翌日には生徒会の生徒が昇降口に立ち、指導をしていた。

5 事務連絡

- ・第3回学校運営協議会3月6日を予定。